

vol.
049

障害社通信

2025年
9月号

9月になりました。9月は「長月」（ながつき）とも呼ばれます。夏から秋に移り変わる時期であり、だんだんと夜が長くなるためにそう呼ばれています。日本では、台風の上陸頻度が上がるほか、十五夜（中秋の名月）や学園祭、文化祭、運動会などの行事が多く開かれます。みなさんは誰とどんな思い出を作りますか♪

創立20周年を迎えました

このたび、株式会社障害社は創立20周年を迎えることができました。

2005年9月に、現代表である安藤の「重度な障害があっても自由に暮らしたい」という想いから、ワンルームマンションで設立した「有限会社パーソナルアシスタント町田」は、16年の歳月を経て、パーソナルアシスタントサービスの域を超え、今では多くの事業を手がける会社となりました。

また、2021年9月に、これからも新たなチャレンジを繰り返して進化をしていくために社名を「株式会社障害社」へと変更いたしました。

ここまで歩んできてことができましたのは、一重に当社に関わり合いを持ってくださったスタッフ、ユーザー、会社関係者、および地域の皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。

代表の安藤は、「株式会社障害社は創立20周年を迎えました。支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。これからも【自由・豊かさ・共生】を胸に、人財の成長を軸に共に学び成長し、『共生社会といえば障害社』と呼ばれる存在を目指してまいります。」と述べております。

次の10年は、さらに「人財」の成長を中心に据え、共に学び、共に成長する企業文化を強めてまいります。

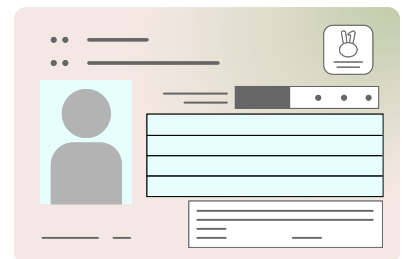
これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



9月9日は「救急の日」ーもしもの時に備えましょう

9月は台風や地震など災害の備えを意識する月でもあり、9日には救急の日があります。突然、救急が必要になった際に正しい情報を素早く伝えられるかが、命を守る大切なポイントになります。特に持病をお持ちの方や障害のある方の場合、必要な配慮や医療情報がすぐに共有されることで、より適切な対応につながります。

救急時に役立つ取り組みのひとつがマイナ救急です。マイナンバーカードには、緊急時に役立つ情報（持病・服薬・アレルギー・緊急連絡先など）を事前に登録でき、救急隊がカードを読み取ることで



本人が意識を失っていても必要な情報を確認できます。もしもの時に、より適切な処置に繋がります。設定や登録はマイナポータルや対応窓口で行えます。

さらに、iPhoneには衛星経由の緊急SOS機能があります。

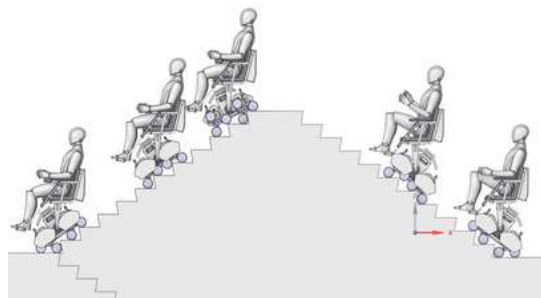
iPhone14以降では、携帯電波が届かない山や海上などでも衛星通信を使って緊急メッセージを送信できます。位置情報とともに119や110へ直接連絡でき、画面の案内に従って簡単に操作できます。旅行先など万が一の時に助けを呼べる大事な手段です。

この9月をきっかけに、マイナ救急やスマホの緊急機能などをチェックしてみてください。一人ひとりの備えが何より大切です！



「車椅子ロボット」に感じる“可能性”

私は重度の肢体不自由があり、日常生活の多くを車椅子で過ごしています。外出には介助が必要で、特に階段や段差は「行けない場所」を増やす原因となっていました。目的地にエレベーターがない、駅の乗り換えが難しい、そんな理由で外出を諦めたことも少なくありません。そんな中で知ったのが、アクセスエンジニアリング様の「movBot®」シリーズです。階段昇降や全方向移動、自動運転など、これまでの車椅子の常識を超える機能が搭載されていると知り、正直驚きました。



まだ実際に見たり乗ったりしたことはありませんが、公式サイトや紹介動画を通して、「もしかしたら、自分ひとりで外に出られる日が来るかもしれない」と思えるようになりました。階段を昇り降りできる、狭い室内でも自在に動ける、高い場所にも手が届くなど、暮らしの状況に応じた対応ができる点が魅力です。もちろん、導入には環境整備や制度面の課題もあると思います。でも、「行けない場所があるのが当たり前」だった私にとって、「行けるかもしれない」という希望は、何よりの力になります。車椅子は、単なる移動手段ではなく、「自分らしく生きる」ための可能性を広げてくれる存在だと思います。

重度肢体不自由者のリアルな生活

人生で初めて褥瘡が出来た芹澤です👤
パンツの縫合わせの硬いところがお尻の同じ箇所にずっと当たっており、気がついたら褥瘡になっていました😞気がついたときにはステージ3で、お尻の皮が裂け肉が見えている状態でした💧
受傷してから15年間褥瘡を作らなかった記録が止まってしまいました👉会社に報告し、在宅ワークにしてもらい、静養と仕事を両立し、何とか2ヶ月で完治することができました👏
今回治療に役立ったのは、医師の意見はもちろんのこと、ChatGPTに毎週、その日と1週前の写真を貼り付け、経過の状況と今後の治療方針をエビデンスに基づいて指示をもらいながら回復に努めました👏
又、ChatGPTだけでは間違った答えを出すこともあるので、どのような段階で回復して、どのようにその状態を評価するのか、どのような薬剤を使っていくのかを調べまくりました👉褥瘡は、一度作ってしまうと癖になり易いので、今後はより一層管理して、二度と作らないようにしたいです。



ボッチャで銅メダル獲得！

8月6日～7日の2日間、三鷹SUBARU総合スポーツセンターで開催された「第9回東京ボッチャ選手権大会」当社スタッフの廣田卓未さんが出場しました。



同大会には日本選手権常連の強豪選手も含め、東京で活動する選手たちが各クラスに分かれて参加しているなか、廣田さんが出場したBC3クラス(投球補助具を使って投球するクラス)では9名が競い合いました。廣田さんは予選リーグを勝ち抜き、決勝トーナメントでは前回の関東大会優勝者に勝利。見事3位となり、東京代表に選出されました！
廣田さんの関東大会での更なる活躍を期待しています！



障害社
facebook



重度肢体不自由者のリアルな生活



Shogaisha stories

当社の様々な情報をSNSでお届けしています！
それぞれQRコードからご覧ください！

障害社通信について、みなさまのご意見をお聞かせください！！



株式会社 障害社

〒193-0013

東京都町田市原町田4-18-6 マーブルパレス101

TEL: 042-850-9141 / FAX: 042-850-9142

MAIL: info@shogaisha.co.jp

障害社HPは
こちらの
QRコードから

